年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	1	数学	4

教科書
東京書籍
補助教材
数学の学習ノート　レスキュー９９

年間指導目標
基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，**数学的に表現・処理したりする技能**を身に付けるようにする。 数の範囲を拡張し，**数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力**，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，**図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力**，**数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力**，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，**不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力**を養う。 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて**粘り強く考え**，**数学を生活や学習に生かそうとする態度**，**問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度**，**多面的に捉え考えようとする態度**を養う。

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	小テスト 単元テスト 定期テスト	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、３０％以上８０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。
思考 判断 表現	小テスト 単元テスト 定期テスト	各評価材料の合計が、おおむね７０％以上はA評価、３０％以上８０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。
主体的に 学習に 取り組む 態度	ノート、パスカル 授業中の発表等 ワーク(日々の宿題) 定期テストふりかえり	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、３０％以上８０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。

授業の評価について	
注意事項	ノートは黒板の内容を写すことを最低限とし、B評価とする。板書に加えて、教師の話をメモしたり、自分なりに分かりやすくまとめたりすることができてA評価とする。 小テストは、単元が終わったのちに単元テストとして行う予定である。 ワークは日々の宿題として学習した内容の復習を家庭で行うことを目的とする。
アドバイス	授業で、新しい知識を身に付け、ノートに自分なりにまとめてみることで、その知識を定着させることができます。ぜひ真剣な態度で授業に臨みましょう。 毎時間、授業開始５分間を使って、既習事項の確認を行います。数学は積み重ねが重要であるため、日々の復習を大事にしてください。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4	1章 正負の数 加法と減法	
	5	1章 正負の数 乗法と除法、正負の数の利用、整数の性質	
	6	2章 文字と式 文字を使った式、文字式の計算、文字式の利用	期末テスト(知・思・主)
	7	3章 方程式 方程式とその解き方	
夏休み	8		
2学期	9	3章 方程式 方程式とその解き方、1次方程式の利用 4章 比例・反比例 関数と比例・反比例、比例・反比例の性質	中間テスト(知・思・主)
	10	4章 比例反比例 比例・反比例の性質と調べ方、比例・反比例の利用	
	11	4章 比例反比例 比例・反比例の性質と調べ方、比例・反比例の利用 5章 平面図形 図形の移動、基本の作図、いろいろな作図、おうぎ形	期末テスト(知・思・主)
	12	5章 平面図形 図形の移動、基本の作図、いろいろな作図、おうぎ形	
3学期	1	6章 空間図形 いろいろな立体、立体の見方と調べ方、立体の体積と表面積	
	2	7章 データの整理と分析 データの分布の見方、データの整理と分析、データの活用	学年末テスト(知・思・主)
	3	総復習 これまでの学習のまとめレポート	